

## 第5回宇都宮市上下水道事業懇話会

日 時：平成22年2月25日（木）  
午後2時～  
場 所：上下水道局5階大会議室

### 次 第

#### 1 開 会

#### 2 懇 話

- (1) 平成22年度上下水道事業会計予算（案）の概要について  
・・・資料1
- (2) 「宇都宮市上下水道基本計画」の具体的な取組について  
・・・資料2
- (3) 平成22年度広報広聴活動実施計画について・・・資料3

#### 3 閉 会

## 平成 22 年度上下水道事業会計予算（案）の概要

### 1 予算編成の背景

本市上下水道事業は、低迷する経済情勢のもと、節水意識の高揚などにより経営の根幹となる水道料金や下水道使用料収入が減収へ転じる中、人件費の抑制や企業債残高の縮減などにより経費の圧縮を図る一方で、施設の老朽化に伴う改築・更新の維持管理等に要する費用が増加するなど、厳しい財政状況にある。

これらの状況を踏まえ、平成 22 年度の予算編成にあたっては、以下の点に配慮しながら編成するものとする。

- ・「選択と集中」による効果的な事業運営  
すべての施策・事業について、「ゼロベース」の視点に立ち、優先化・重点化を行う。
- ・「上下水道基本計画」の推進  
平成 21 年 3 月に改定した「宇都宮市上下水道基本計画」を着実に推進する。

### 宇都宮市上下水道局基本計画

～上下水道の質を高める～

#### 計画の柱

- |                |                                |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 水道水の安心給水の推進 | 高品質で安全な水を安定供給します。              |
| 2. 下水の適正処理の推進  | 生活排水と雨水を適正に処理し、快適な生活環境を確保します。  |
| 3. 危機管理の強化     | 災害に強いライフラインの確立と危機管理体制の強化を図ります。 |
| 4. 環境保全の推進     | 環境負荷の低減を図り、持続可能な循環型社会に貢献します。   |
| 5. お客さまサービスの充実 | お客様のニーズに的確に対応し、お客様満足度の向上に努めます。 |
| 6. 信頼経営の推進     | 経営基盤の強化を図り、信頼性を確保します。          |

## 2 予算の概要

### (1) 水道事業会計

**総事業費 165億7,500万円**

会 計 名	平成 22 年度	平成 21 年度	増 減	
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	伸び率 (%)
水道事業会計	16,575	17,242	△667	△3.9
収益的支出	9,410	9,591	△181	△1.9
資本的支出	7,165	7,650	△485	△6.3

◇企業債元利償還額 : 43億5,500万円

◇22年度末企業債残高: 488億4,200万円

#### ○ 主な事業

##### ア 水源の確保

9億5,300万円

事業内容 将来の水需要や地下水源能力を踏まえ、より安定的給水を図るための  
水源を確保 \*湯西川ダム建設事業への参画

##### イ 老朽配水管の布設替

7億円

事業内容 老朽配水管の取替に係る工事  
\*整備延長 5,010m

##### ウ 水道施設の整備

15億3,500万円

事業内容 松田新田浄水場ろ過池改造工事及び薬品注入設備設置工事など

##### エ 上下水道施設の耐震化

8,700万円

事業内容 「耐震化基本計画の策定」  
松田新田浄水場, 高間木取水場, 川田水再生センターの耐震診断

(2) 下水道事業会計

総事業費 224億700万円

会計名	平成22年度	平成21年度	増減	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
下水道事業会計	22,407	22,552	△145	△0.6
収益的支出	11,606	11,723	△117	△1.0
資本的支出	10,801	10,830	△29	△0.3

◇企業債元利償還額 : 82億3,200万円

◇22年度末企業債残高 : 880億8,200万円

○ 主な事業

ア 公共下水道污水管渠の整備 12億6,900万円

事業内容 下水道管渠の布設  
\*整備面積 55.0ha 整備延長 15,609m

イ 合流式下水道の緊急改善 9億8,000万円

事業内容 合流式下水道の放流水の水質改善を図るため、5か所に汚水貯留施設を設置

ウ 老朽下水道管の改築更新 1億1,100万円

事業内容 老朽管渠改築更新（長寿命化）に係る改築更新工事  
\*整備延長 115m

エ 公共下水道雨水管渠の整備 3億2,200万円

事業内容 溢水被害の解消に向け、鶴田川5-1号幹線、奈坪川第1など5か所を整備 \*整備延長 466m

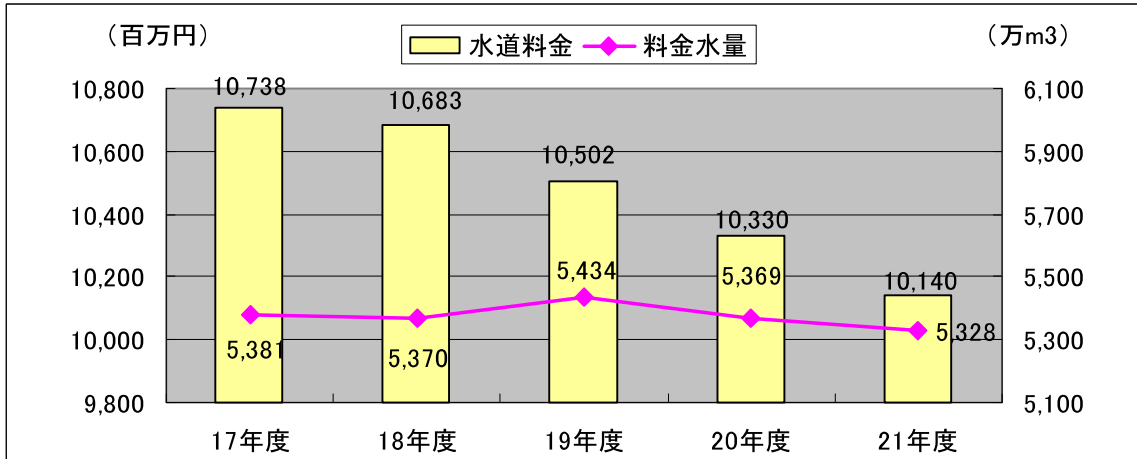
オ 下水道施設の整備 18億7,600万円

事業内容 川田水再生センター水処理施設などの改築  
河内水再生センター水処理施設の増設

料金収入および料金水量の推移

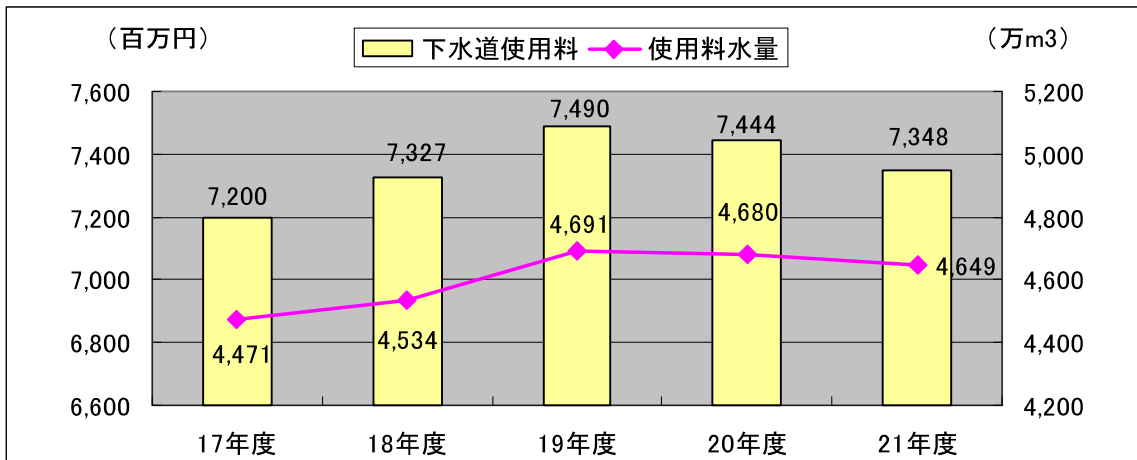
【水道】

\*21年度は決算見込み




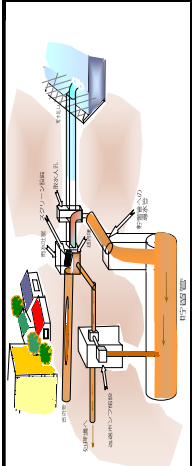




【下水道】

\*21年度は決算見込み



# 「宇都宮市上下水道基本計画」の具体的な取組について

柱 基本施策		基本事業		施策指標	
<b>1 水道水の安心給水の推進</b>					
1-1	水道水の高品質化の推進	(1) 水源地の水質保全 (2) 水道水の水質管理の充実 (3) おいしい水づくりの推進 (4) 新鮮でおいしい水の供給の推進	<p>本市の水道水は、水道法の基準を満たしており安全性を確保されており、味覚の観点からは、法定基準の範囲内でより温度が低い方が優れていることから、塩素臭を感じない水道水を白指します。</p> <p>この指標は、給水に対する安定性や災害・事故等に対する危機対応性を示します。</p> <p>定期的に水道水を給水するため、一日最大給水量の12時間分の配水池の容量の確保を目指します。</p> <p>この指標は、本市の老朽管に位置付けられている総延長35kmの配水管の更新率を示したものです。</p>	<p>①平成20年度末 おいしい水の達成率 75%</p> <p>○水道法より厳しい独自の水質基準の設定</p> <p>○高度浄水の研究</p> <p>○薬品量の低減</p>	
1-2	安定給水の確保	(1) 安定水源の確保 (2) 水道施設の整備	<p>この指標は、給水に対する安定性や災害・事故等に対する危機対応性を示します。</p> <p>定期的に水道水を給水するため、一日最大給水量の12時間分の配水池の容量の確保を目指します。</p>	<p>◎平成20年度末 確保率 81%</p> <p>○白沢浄水場の整備 (平成21年度完了予定)</p>	
1-3	水道施設等の適正な管理	(1) 施設等の適正な維持管理 (2) 施設等の計画的な改築・更新	<p>この指標は、本市の老朽管に位置付けられている総延長35kmの配水管の更新率を示したものです。</p>	<p>◎H20年度末 老朽管更新率 18.8%</p> <p>○老朽配水管布設替計画の概要</p> <p>【老朽管の定義】 耐用年数(40年)を経過した、腐食防止加工のされていない配水管 【スケジュール】 H20~H24 27,440m, H25~H29 7,708m (合計 35,148m) 【総事業費】 44.7億円</p>	
<b>2 下水の適正処理の推進</b>					
2-1	生活排水の適正処理の推進	(1) 汚水管渠の整備 (2) 水再生センター、中継ポンプ場の整備 (3) 合流式下水道の機能改善 (4) 公共用水域の水質向上	<p>この指標は、合流式下水道区域において、雨天時の河川への放流水質の改善状況を表すものです。</p>	<p>◎平成20年度末 合流式下水道改善率 0%</p> <p>○合流式下水道緊急改善計画概要</p> <p>【改善方針】 スクリーン17基、貯留施設14箇所 【スケジュール】 ・スクリーン H19~H20 (完了) ・貯留施設 H20~H25 【総事業費】 67億円</p>	
2-2	雨水対策の推進	(1) 雨水幹線等の整備 (2) 雨水貯留・浸透施設設置の促進	<p>この指標は、特に緊急度の高い重点排水区として定めた8排水区における雨水幹線の整備状況を表すものです。</p>	<p>◎平成20年度末 雨水幹線整備率 65%</p> <p>○雨水整備計画の概要</p> <p>【重点排水区】 ・ 駒生川第4排水区 (宝木町2丁目) ・ 新川第6排水区 (横田新町) ・ 江川第1排水区 (元今泉7丁目) ・ 徳川第9排水区 (窪宮3丁目) ・ 鶴川第5排水区 (鶴田町) ・ 西川田川第1排水区 (大塚町) (完了) ・ 三の沢排水区 (鶴田町) 【総事業費】 80億円</p>	
2-3	下水道施設等の適正な管理	(1) 施設等の適正な維持管理 (2) 施設等の計画的な改築・更新	<p>この指標は、改築更新の進捗状況を表したもので、優先的に改築工事が必要な路線延長のうち、工事が完了した割合を示すものです。</p>	<p>◎平成20年度末 老朽管更新率 18.0%</p> <p>○老朽管渠改築更新計画の概要</p> <p>【老朽管渠の定義】 平成16~18年度に実施した管渠の調査・診断により、更新が必要とされた管渠 (経過年数30年以上、管径350mm以上) 【スケジュール】 H20~H24 787m 【総事業費】 6.4億円</p> <p>※調査において深刻な異常箇所が発見されなかった管渠 (1,701m) については、計画的維持管理を実施</p>	

柱 基本施策 基本事業 施策指標


3 危機管理の強化

3-1 災害や事故に強い上下水道の確立	<p>この指標は、上下水道の基本機能の確保に必要な浄水場及び水再生センターが、必要なレベルの耐震性を保有しているかを把握する耐震診断の実施状況を示すものです。</p> <p>浄水場・水再生センターの耐震診断実施率</p> <p>— ⇒ 100% (H19年度末) (H24年度末)</p>
---------------------	--

<p>◎平成20年度末 耐震診断実施率 0%</p> <p>○耐震化基本計画の策定</p> <p>○真砂施設の耐震診断</p> <p>○災害時における他市との連携</p> <p>○応急給水・復旧活動・資材の提供等の応援体制の確保</p> <p>○車載用給水タンクの配備</p> <p>○緊急時の水運用体制の確立</p>	
---	---


4 環境保全の推進

4-1 二酸化炭素排出量の削減	<p>施設資源が有効活用され、環境負荷が低減されていることを表す指標で京都市議定書に定められた基準年に対しての二酸化炭素排出量の削減割合を示すものです。</p> <p>CO<sub>2</sub>排出量削減率</p> <p>2.7% ⇒ 14% (H19年度末) (H24年度末)</p>
-----------------	--

<p>◎平成20年度末 CO<sub>2</sub>排出量削減率 2.7%</p> <p>○太陽光発電設備の設置</p> <p>・H19 松田新田浄水場 (完了)</p> <p>・H21 白沢浄水場</p> <p>○小水力発電設備の設置</p> <p>・H21 第3減圧所 (石那田町) (完了)</p> <p>○上下水道資源の有効活用</p> <p>・消化ガスの活用</p> <p>・下水処理水の再利用</p>	
--	---

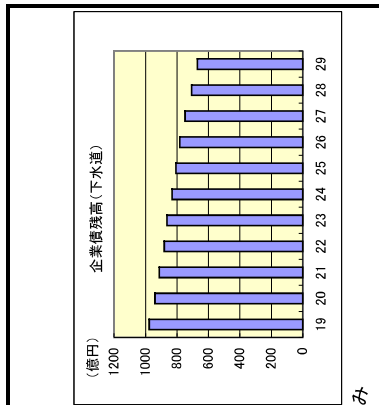
5 お客様サービスの充実

5-1 お客様サービスの高品質化	<p>お客様満足度</p> <p>65% ⇒ 70% (H19年度末) (H24年度末)</p>
------------------	--

<p>◎平成20年度末 お客様満足度 67.8%</p> <p>○マーケティング調査の実施</p> <p>・トラファルサボートの充実</p> <p>・新しい料金サービスの研究</p> <p>・効果的な情報提供の推進</p> <p>○イベント等における広報広聴活動</p> <p>・イメーシアップの推進</p>	
--	---

6 信頼経営の推進

6-1 経営基盤の強化	<p>企業債残高 (水道)</p> <p>558億円 ⇒ 489億円 (H19年度末) (H24年度末)</p> <p>14%以上削減</p>
6-2 経営の効率化	<p>企業債残高 (下水道)</p> <p>977億円 ⇒ 832億円 (H19年度末) (H24年度末)</p> <p>20%以上削減</p>

<p>◎平成20年度末 企業債残高</p> <p>・水道 513.6億円</p> <p>・下水道 940.1億円</p> <p>○財政構造改革の推進</p> <p>・企業債残高の縮減</p> <p>・外部委託の推進</p>	
---	--

※財政構造改革計画(H19策定)における見込み

## 平成22年度広報広聴活動実施計画

種別	項目	活動目的・内容	
イベント	フェスタmy 宇都宮	下水道の役割や雨水貯留施設などをPRするため、市主催のフェスタmy宇都宮に参加する。 【実施時期:5月下旬 実施場所:城址公園ほか】	
	食育フェア	「水」と「健康」の視点から安全でおいしい水道水をPRするため、市主催の食育フェアに参加する。 【実施時期:10月上旬 実施場所:城址公園ほか】	
	上下水道施設 1日開放	浄水や下水処理に対する理解を深めてもらうため、上下水道施設を一般に開放し、施設内見学などを実施する。 【実施時期:8月下旬 実施場所:松田新田浄水場, 上河内水再生センター】	
	下水道いろいろ コンクール	小・中学生を対象に、下水道事業に対する理解や関心を高めてもらうため、下水道に関する作品(ポスター, 書道, 標語)コンクールを実施する。 【実施時期:10月上旬 実施場所:表参道スクエア】	
	上下水道 探検ツアー	上下水道事業に対する理解や関心を高めてもらうため、上下水道施設や、水源地などを見学するツアーを実施する。 【実施回数:年2回(6月, 8月)】	
広報事業	広報紙	上下水道事業に対する理解や関心を高めてもらうため、上下水道に関する情報や話題を掲載した情報誌を発行する。 【発行回数:年4回(5月, 9月, 12月, 3月) ページ数:8(フルカラー)】	
	ホームページ	上下水道事業に対する理解や関心を高めてもらうとともに、上下水道に関する最新情報の発信や各種申請書等のダウンロードなど、お客様サービスをより向上させるため、ホームページを開設し、随時充実を図る。	
	お届けセミナー	上下水道事業に対する理解や関心を高めてもらうため、小学校や公民館などに出向き、上下水道に関する出前講座を実施する。 【実施時期:(小学校)5月～ (一般)通年】	
	施設のパンフレット, PRグッズの作成	上下水道施設の見学者が、上下水道の役割や施設の機能などについて理解しやすいよう施設のパンフレットを作成する。 (その他のパンフレット) ・小学4年生の副読本「みんなを守る水の旅」など  上下水道事業に親しみを抱いてもらうとともに、上下水道事業に係る歴史的建造物などをPRするため、授産施設と提携し、PRグッズを作製する。 ・小学生対象のお届けセミナーなどで配布 →デコパージュ石けん, マグカップなど ・イベントなどで配布 →花の種入りティッシュ, 施設の写真を印刷した入浴剤など	
	その他広報活動	・「広報うつのみや」、テレビ・ラジオ等による広報 ・報道機関に対する公表 ・関連事業への参画(パブリシティの有効活用) →防災フェア, 宇都宮プライドなどの連携	



種別	項目	活動目的・内容	
広聴事業	水道・下水道モニター	上下水道事業を運営する上で参考とする意見などを聴取するため、幅広い年齢層からのモニター制度を活用する。	
	上下水道なんでも相談所	上下水道事業に関するお客様からの相談に対応するため、イベントなどでブースを設ける。	
ペットボトル事業	500ml.泉水	おいしい水道水をPRするため、ペットボトル水「うつのみや泉水」を作製し、イベント等で配布、販売する。	
	900ml.泉水 (災害対策用)	災害対策(備蓄)用として、ペットボトル水12本セット(給水袋付き)を作製・販売し、災害対策の必要性をPRする。	
有料広告事業	局広報紙 における広告	上下水道事業の新たな収入を創出し、財源確保・収益拡大を図るため、広報紙に有料広告を掲載する。 【掲載料:1回につき 50,000円】	
	検針票裏面広告	上下水道事業の財源確保・収益拡大を図るため、検針票に有料広告を掲載する。 【掲載料:2月につき 100,000円】	